

## まちづくり元気塾支援団体の活動状況について

### 1. 坂井活性化実行委員会（2018年度支援団体、新潟県胎内市）

活動テーマ：美しい田園風景と美味しい里山の幸を活かした地域おこしモデル構築

元気塾では、棚田や里山など、地域の豊かな自然を活かした観光客誘致や地域活性化の拠点、独自商品づくりを検討しました。市内の大学生も交えて行われたワークショップでアイデアを抽出し、①伝統菓子の復活、②旧街道を巡るウォークツアー、③地域の拠点施設づくり、④雪を楽しむ「楽雪イベント」の4つのテーマに絞り込むとともに、元気塾終了後も活動を継続してすべてを実現しました。現在は、通信販売の専用サイト（<https://tangotango.shop-pro.jp/>）を立ち上げ、地域のブランド米や農産物の販売も行っています。



代表の坂上 良夫 氏



坂井地区の美しい棚田



学生との連携で立ち上げた拠点施設

### 2. 農事組合法人湯の郷（2017年度支援団体、岩手県花巻市）

活動テーマ：花巻南温泉峡など地域資源を活用した観光と農業の連携

元気塾では、地域の自然や文化、産業を取り入れながら、交流人口拡大につながるまちづくりを目指して活動しました。地域の特産品である「しいたけ・そば・玉ねぎ」を使った新たな商品の開発を目指して議論を重ね、「大沢・純そば」や「しいたけ入り鍋焼きうどん」を地域の「大沢温泉」で提供することができました。元気塾終了後も活動を継続し、障がい福祉サービス事業所「こぶし苑」と連携して「原木しいたけのアヒージョ」を開発。同アヒージョを用いたパンがAB級グルメグランプリ大会、農福連携グランプリ大会 2019 決勝大会において、見事最優秀賞に輝きました。



ワークショップの様子



大沢地区産そば粉 100%の「大沢純そば」



原木しいたけのアヒージョを使ったパン

### 3. 特定非営利活動法人ふじさと元気塾（2016年度支援団体、秋田県藤里町）

活動テーマ：共助の考えを生かして大学生と一緒に地域を支える仕組みづくり

秋田県内の地域貢献と地域交流を目的とした大学生グループ「ARC」と一緒に、地域を支える仕組みづくりに取り組み、元気塾では、地区の自然・食べ物・名所旧跡・祭りや、人財を取りまとめた「お宝マップ」を作成し、参加者間で共有を図り、今後のビジネス展開に向けたワークショップを行いました。元気塾終了後も活動を継続し、農水省の交付金を活用した「農泊事業」を開始するとともに、農家レストランの運営や、首都圏の大学との連携を進めています。



大学生グループ「ARC」も参加



代表の藤原 弘章 氏



農家民宿を希望する家庭を視察